

平成 25 年 7月16日

自由民主党会派(礎)

代表 友枝和明様

八代市議会自由民主党会派 管外視察

復命書

視察期日 平成 25 年7月1日(月)~7月 3 日(水)
視 察 先 東京都豊島区・中野区・立川市・政府要望

参加者

団 長 友 枝 和 明



会 計 中 村 和 美



増 田 一 喜



上 村 哲 三



調査事項 1

巣鴨地蔵通り商店街について(豊島区)

1、商店街の概要

「おばあちゃん原宿」と呼ばれる巣鴨地蔵商店街は、旧中山道にあり、江戸中期から現在に至るまで、商業や信仰の場として栄えてきた。江戸時代、中山道の出発地点の日本橋から出発して最初の休憩所(江戸時代の言葉で立場あ(たてば)という)が江戸六地蔵尊・眞性寺から巣鴨庚申塚の間に点在し、街並みが形成された。

明治24年にはとげぬき地蔵尊・高岩寺が上野から巣鴨へ移転し、現在は「とげぬき地蔵尊」と「江戸六地蔵尊」の二つのお地蔵様と巣鴨庚申塚に守られて、商業の街・信仰の街としてお年寄りを中心に多くの方々に賑わっている。

お寺があり、露店があり、小さな店が並ぶ1巣鴨地蔵通り商店街では、古き良き日の風景と文化を守りながら人に優しい昔ながらの商人のおもてなしの心を大切にされている。

【所在地】 東京都豊島区巣鴨3丁目、4丁目

【商店街の類型】 広域型商店街

【設立】 昭和27年7月5日

【法人化】 昭和28年4月21日 商業協同組合設立

昭和38年8月6日 商店街振興組合に組織変更

【全長】 約780メートル

【会員数】 270名(会員 88名、準・賛助会員 82名)

【組合】 巣鴨地蔵通り商店街振興組合 理事長 木崎茂雄

【住所】 〒170-0002 東京都豊島区巣鴨4-22-8

【電話番号】 03-3918-2101

2、事業実績

【商店街イベント等】

縁日(毎月4, 14, 24日) ザDONがら市(春・秋) 朝顔まつり、菊祭り、すがも商人まつり(6月上旬の土日)、巣鴨納涼盆踊り

【商店街活性化事業】

- ・商店街アーチの設置(6基):昭和46年2月
- ・商店街アーチの改修:平成23年3月
- ・LED型商店街街路灯の設置(70本):平成21年3月
- ・商店街ホームページの作成:平成18年度
- ・商店街ホームページのリニューアル:平成24年度

3、区民からの評価

豊島区を代表する商店街として全国各地から来街し、区民からも高い評価を得ている。来街者の多くは、高岩寺や眞性寺へ参拝しながら、商店街での飲食や買い物を楽しんでいる。商店街が評価されている理由として、商品の品ぞろえが多く、低価格で販売している店が多いことや、縁日には露店がでたり、年間を通して多くの商店街イベントを実施していることなどがあげられる。近年は、若い人を対象にしたおしゃれな店も出店しており、庶民的な良さを残しながら新たな魅力が加わり、高齢者のみならず若者や家族連れの来街者も増えている。

4、商店街の課題

巣鴨地蔵商店街でも、近年各店舗の売り上げが伸び悩んでおり、集客力の向上を如何に売り上げに結びつけるかが課題となっている。

そこで、商店街では平成24年度に豊島区の商店街振興事業補助金を活用して商店街ホームページをリニューアルし、各店舗情報や商店街イベント等の情報提供の充実を図っている。また、商店街イメージキャラクター「すがもん」を扱った商品を販売したり、各種商店街イベントに登場させるなどした若者層の獲得にも力を入れている。

さらに、従来から実施している商店街イベントに加え、近年は大正や昭和の時代をテーマにした新規イベントを開催するなどして、家族連れや幅広い世代から愛される商店街づくりに取り組んでいる。

調査事項 2

すこやか福祉センターについて(中野区)

1、センター設置経緯

小学校跡施設整備事業は、閉校した小学校を他の用途に活用するために耐震補強やバリアフリー化等改修工事を行った中野区初めての事例で、その一部を活用して平成31年度末までに4か所の「すこやか福祉センター」を日常生活圏域に 順次 設置する予定である。

2、センターの特色・概要

【特色】

- ① 総合相談窓口：福祉系・医療系専門職員への相談のほか、地域包括支援センターおよび障害者相談支援事業所を併設し、子供、高齢者や障害者等が気軽に相談できる総合相談を実施する
- ② 地域支えあい活動：単身高齢者等の地域における要支援ニーズに対して、地域団体や社会福祉関係者等が連携して、日常的な見守り活動を行う「地域支えあいネットワーク」の地域の拠点として、地域の要支援情報の把握や活動の調整を行う。

【概要】

- ① 所管地域：人口 92,792人(男47,136人・女45,656人) 面積4.48平方キロ 世帯数 58,208 世帯 高齢化率 18.9%(65歳以上)
- ② 施設：中部すこやか福祉センター 児童館(城山ふれあいの家、文園児童館、U18プラザ中央、上高田児童館、U18プラザ上高田)
- ③ 区民活動センター：東部 桃園 昭和 東中野 上高田の5か所
- ④ 高齢者福祉センター・高齢者会館：堀江高齢者福祉センター 宮園高齢者会館 昭和高齢者会館 上高田高齢者会館 東中野いこいの家 上高田東高齢者会館の6か所
- ⑤ 職員体制：所長 1名 地域ケア分野(常勤 37名・再任用 4名)
地域支援分野(常勤 12名・再任用 6名)

3、区民からの評価

意見・要望に対して、整備がなされている。防犯カメラの設置や防音対策についても体育館の窓ガラスを二重サッシに更新し、隣地住宅に近接している北側のガラスと併せて更新し、区民からの評価が高い。

4、今後の課題

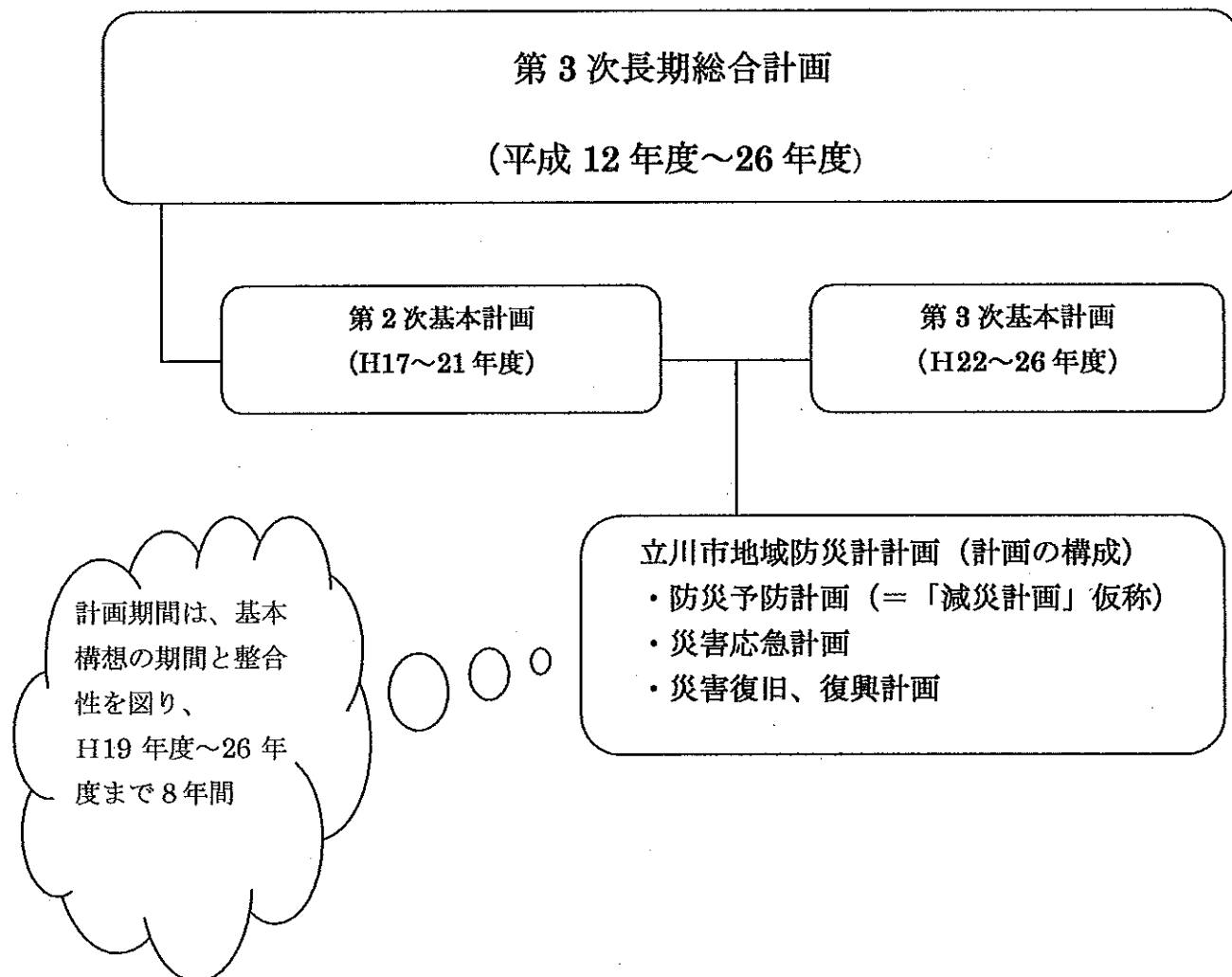
場所への公共交通機関の便が悪い。

看板の設置が困難等で要望しても取り上げてくれないとのことである。

調査事項 3

地域防災計画について(立川市)

1、計画の概要(立川市地域防災計画の位置づけ)



2、地域防災計画の見直しと基本的な考え方

《地域防災計画》

- ・平成19年度～26年度までの8カ年計画
- ・平成26年度に見直し実施

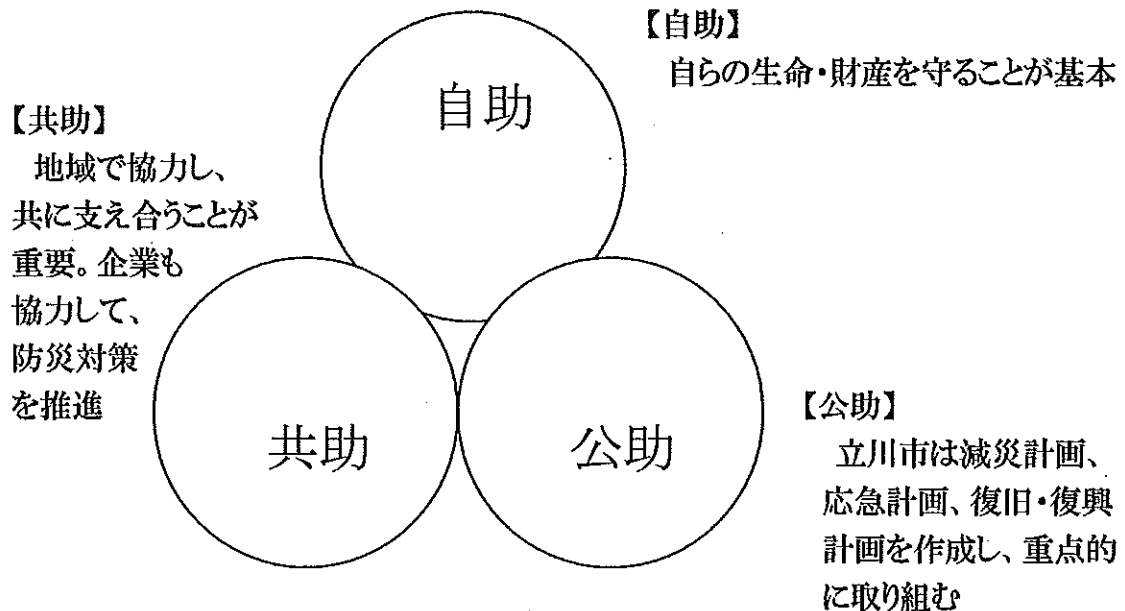
☆ 見直しの視点

- 見直しの視点は、災害が起きても被害を軽減させる「減災」の視点
- 市民・地域・事業者、行政が自助・共助・公助の適切な役割分担に基づき連携・協働する仕組みづくりを進める。

3、計画に対する市民の連携

市・市民・地域・事業者との連携・協働

災害が発生しても被害を最小限にするためには、「自助」「共助」「公助」の仕組みづくりが重要



4、今後の課題

①助成の視点

②ペット対策

③アレルギー対策

④ツイッター等SNS(ソーシャルネットワークシステム)対策

人と人とのつながりを促進する社会的ネットワークをインターネット上で構築するサービスのシステム

⑤トリアージ

多数の負傷者が出た場合、救急隊員や医師が選別し、負傷者の優先順位を選別する行為

⑥避難所運営組織の向上 → 安心・安全の街づくりへ

政府要望

要望項目

- ・施設園芸補助金の嵩上げの継続について
- ・熊本県八代地域い産業を守る対策に関する要望書
- ・生姜の臭化メチル代替農薬開発について
- ・八代平野における農業農村整備事業の促進について
- ・球磨川総合水系環境整備事業等について
- ・球磨川水系川辺川砂防事業の促進について
- ・球磨川水系治水対策の促進について
- ・中九州の海上輸送拠点「八代港」の整備促進について
- ・大鞘川河川改修事業の促進について
- ・八千把・松高地区（古閑排水区）における浸水対策事業について

以上を、農林水産省、国土交通省の担当課に各議員から切実な思いを持って要望し、前向きな答弁をいただいた。

現場の声が一番。今後も政府要望は続けたい。

会派 自由民主党 礎 行政視察所見

議員名【 友枝 和明 】

- ◆視 察 日：平成 25 年 7 月 1 日（月）
- ◆視 察 先：東京都豊島区
- ◆調査項目：巣鴨地藏通り商店街について

400年の歴史と伝統を感じる商店街である。有名な「とげぬき
地藏尊高岩寺」があり「おばあちゃんの前宿」と言われているそ
うである。まさに、中・高年の客が見られ1日1万人から3万人
の人出がある。幅員8メートルの道路で、狭い歩道に商品がはみ
出し雑然と並べてあるが、歴史と文化を大切にしている、ふれあ
いのあるやさしい街と感じた。

一番景気が良かった昭和60年代から売り上げは落ち込んでいる
が、イベントの効果で売り上げの歯止めはできているそうである。
年間のイベントは20～30あり、昔の文化を掘り起こし、協力
しながら商店街を盛り上げているように感じた。また、高齢化社
会に対しての優しいまちづくり、安心感を与えるまちづくりが必
要と考えられる。

会派 自由民主党 礎 行政視察所見

議員名【 中村 和美 】

- ◆視 察 日：平成 25 年 7 月 1 日（月）
- ◆視 察 先：東京都豊島区
- ◆調査項目：巣鴨地藏通り商店街について

全長約 7 8 0 メートル。商店数 1 9 8 店舗。会員 2 7 0 名。

（賛助会員 8 2 名含む）

通称「おばあちゃんの前宿」と呼ばれ、1 日中賑わっている。

しかし、現在、ターゲットは、おばあちゃんから若者へと変わってきているとのこと。

理由は、昭和 6 0 年代が一番賑わっていたが、現在は、減少傾向にあり、対策として、5 ～ 6 年前よりイベントを強化しているとのこと。

すがも朝顔まつり（7/2～4）、すがも菊まつり（11/6～15）、巣鴨納涼盆踊り（7/28～8/1）等を行って客集めを行っているが、今後の課題としては、安心、安全、文化的なまちづくりを目指し、現在、地元 7 0 %、都内 1 5 %、都外 1 5 %の入込客をもっと増やすために頑張るとのことであった。

会派 自由民主党 礎 行政視察所見

議員名【 友枝 和明 】

- ◆視 察 日：平成 25 年 7 月 2 日（火）
- ◆視 察 先：東京都中野区
- ◆調査項目：すこやか福祉センターについて

閉校した小学校を他の用途に活用するために、耐震補強やバリアフリー化等の改修工事を行った中野区初めての事例である。

工事費 803,145 千円で立派な施設である。

しかし、住宅地であるため、住宅側の窓は開閉禁止とのことである。

また、自転車の駐輪場は（設置基準は 120 台以上とのことであるが）、130 台整備されていた。しかし、車の駐車場がなく、住宅街とは言え、もう少し工夫はできなかったのか。不思議としか言いようがない。

平成 22 年 5 月に完成したものの、ひとつのスペースは未だに活用されていない状況で、本市には考えられないことである。行政の怠慢なのか驚いた。失礼な言い方であるが、区が区民に対して積極的に利用してもらうために真剣に考えているのだろうかと感じた。

会派 自由民主党 礎 行政視察所見

議員名【 中村 和美 】

- ◆視 察 日：平成 25 年 7 月 2 日（火）
- ◆視 察 先：東京都中野区
- ◆調査項目：すこやか福祉センターについて

少子化による学校合併の為に、廃校になった小学校を、地域の皆様方のために改築した施設である。工事費約 8 億円。3 階建ての校舎の 1 階には総合相談窓口と高齢者・障害者等の相談室やホールがあり、2 階には、乳幼児のための歯科・栄養等の相談室や子育てひろば等がある。また、3 階には、軽度知的障害者の作業場があり、毎日約 30 名が通所しているとのことでした。全体での職員数は 58 名。屋外には小公園やフットサル 1 面があり、環境的にはすばらしいと思いましたが、この施設への交通アクセスが悪く道幅が狭く危険であり、駐車場も 3～4 台分のスペースしかなく、駐車できないために利用者が少ないとのことでした。また、独居老人対策にも困っており、去年は 3 件の孤独死があり、確認するにも、入室するために鍵を壊すのにも問題があるとのこと。約 8 億円をかけて改築しているが、もっと根本的な計画を解決してから施設であったなら、利用者が少ないことはないと思った。

会派 自由民主党 礎 行政視察所見

議員名【 友枝 和明 】

◆視 察 日：平成 25 年 7 月 2 日（火）

◆視 察 先：東京都立川市

◆調査項目：地域防災計画について

震災を経験した自治体であり、防災・減災計画、応急計画、災害復旧・復興計画等の計画を、平成 19 年度から 26 年度までの 8 ケ年計画で、26 年度に見直し実施するとのことである。見直しの視点としては、災害が起きても被害を軽減させる減災の視点であり、市民・地域・事業者・行政が自助・共助・公助の基本理念のもと、適切な役割分担に基づき連携・協働する仕組みづくりを進める計画で、本市にない細心の内容である。

特に、市民防災組織を対象とした普通救命講習会を毎年 7 月に消防署で実施しており、市民に対しての行政の責務を感じた。

会派 自由民主党 礎 行政視察所見

議員名【 中村 和美 】

◆視 察 日：平成 25 年 7 月 2 日（火）

◆視 察 先：東京都立川市

◆調査項目：地域防災計画について

平成 12 年度から 26 年度までの第 3 次長期防災総合計画の中に
て、平成 19 年度から 26 年度の 8 年計画の見直しを行っており、
災害が起きても被害を軽減させる「減災」や、市民・事業者等と
の自助・共助・公助の役割分担づくり等を現在やっているとのこ
と。また、昼夜間人口比率が高い為に帰宅困難者の対応の問題が
あり、約 12,000 人を 3 日間避難保護する為に、ホテル・デ
パート・予備校等へ依頼中とのこと。

また、市民防災組織結成率は現在 56%（101 組織）であるが、
目標としては 70%（120 組織）結成へ計画中とのことでした。
八代と同じで立川にも立川断層が縦にあり、八代と状況が一緒で
あり、八代も防災意識をもっと持つ必要があると感じた。